

保育園の紹介

保育所ひかり学園

**集団づくり ～ささえ、ささえられながら、
共に育ち合う子ども集団の育成を目指して～**

子ども達がひかり学園で過ごす時間は、子ども達の「生活」そのものです。

安心し、安定し、そして充実した生活を送ることができるよう、園には様々な「環境」が子ども達のために準備されます。

■物的環境

保育園での生活にはたくさんの物質的な環境が子ども達を包んでいます。

創園以来の古い園舎も、室内の絵本も、お絵かき用の小さな紙きれ一枚でさえも、子ども達の大切な環境です。



園庭の遊具も砂場も、一つのボールも、小さな小石も。春夏秋冬に咲き誇る桜の古木も、色づいたイチヨウの葉っぱも。

物言わぬ、ありふれた日常のそれぞれが、子ども達の生活を豊かに彩る「物(もの)的環境」として保育園を構成しています。

■事的環境

毎日の生活の中で、子ども達の笑顔や夢をつくりあげるには物質的環境だけでは足りません。

園では子ども達が巻き込まれていく様々な「出来事」「事(こと)」的環境が計画的に進められます。



入園式や卒園式などの式典。運動会や発表会・作品展などの保育行事だけではなく、ひな祭りや豆まき・餅つきなどの伝統的行事。毎日の朝の会や帰りの会。子ども赤十字活動の取り組みも。

多彩な事(こと)を通して、子ども達は身体と心を動かし、日々の生活の中に重層的な経験を積み重ねて行きます。

■人(ひと)的環境

そして、何よりも子ども達の生活を豊かにさせるのが、その生活の中にある他者とのふれあ

い「人(ひと)的環境」です。

子どもならずとも、毎日が楽しいのは笑顔を支える仲間が存在が嬉しいから。新しい事に挑めるのは一緒に頑張れる仲間がいるから。

ひかり学園では、子ども達が家族や保育園や仲間たちとの心地よい人間関係に育まれ、笑顔いっぱい生活することを人的環境の基盤としたうえで、子ども達の複数での関わり(集団)の質の高い成長をうながすことで、ともにささえ、ささえあいながら育って行く「よりよい仲間」が形成されるよう、集団づくりに着目した保育を工夫し展開しています。



願わくば、ひかり学園の生活を通して得た仲間とのつながりが、これから熊野町に育ち、熊野町で生きる子ども達の、かけがえの無い財産となりますように。

あとがき

昨年、カープのクライマックス進出、サンフレッチェの2連覇は県民に夢と感動を与えてくれました。

本年は、ソチ五輪、サッカーワールドカップの開催で、日本選手の活躍が期待され大会が楽しみです。

町内では、3月末に熊野黒瀬トンネルが開通し、町の東玄関として、高速自動車道への距離と時間が短縮され大変便利になります。

また、「熊野筆」は、ここ2年間で全国的に有名となり、地場産業に活気がみられました。本年も面白い話題で町が元気になりますようこれからも取組んで参りたいと思います。本年もよろしく願います。皆様にとって良い1年となりますようお祈りいたします。

民法 正則

次の定例会は

3月12日(水曜日)

開会を予定しています

議会だより題字

世木田江山さん

表紙写真

おもちつき
(保育所ひかり学園)